

5 児童生徒質問紙調査結果と「学力のレベル」

(1) 授業に関すること

①調査結果から

- 「学力のレベル」が高い児童生徒は、学習課題を把握したり、話合いや交流を通して自分の考えをもったり、学習したことと既習事項を関連付けたりする傾向が見られた。
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が、学力向上に寄与している。

②指導に当たって

- ◎ 教材との出会わせ方を工夫し、子どもの問いや思い・願いを引き出し、学習課題を理解しているかを確認し、全ての子どもが自ら学び出そうとする導入にすることが大切である。
- ◎ 子どもが自己調整しながら個別最適な学びを進め、多様な他者と協働することをとおして、自分の考えを確かにしたり、新たな考えに気付いたり、磨き上げたりする展開にすることが大切である。
- ◎ 「まとめ・振り返り」において、「何が分かり、何ができるようになったのか、どのように学習したか」を、子どもが自覚できる終末にすることが大切である。

【「ふくしまの『授業スタンダード』」より】

- ・ 「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にするために、「問い」や「思い・願い」を基に子どもたちの気付きや発言などをつないで焦点化し、学習課題を設定しましょう。
- ・ 思いや考えを広げ深めることができるようにするために、児童生徒の考えを基に話合いをコーディネートし、ねらいに迫りましょう。
- ・ 子ども自身の言葉で、学習課題に対応したまとめを表現できるようにします。また、板書やノートなどを基に「どのように学習してきたか」を子どもが振り返ることができるようにしましょう。

【『学びの変革』授業デザイン』より】

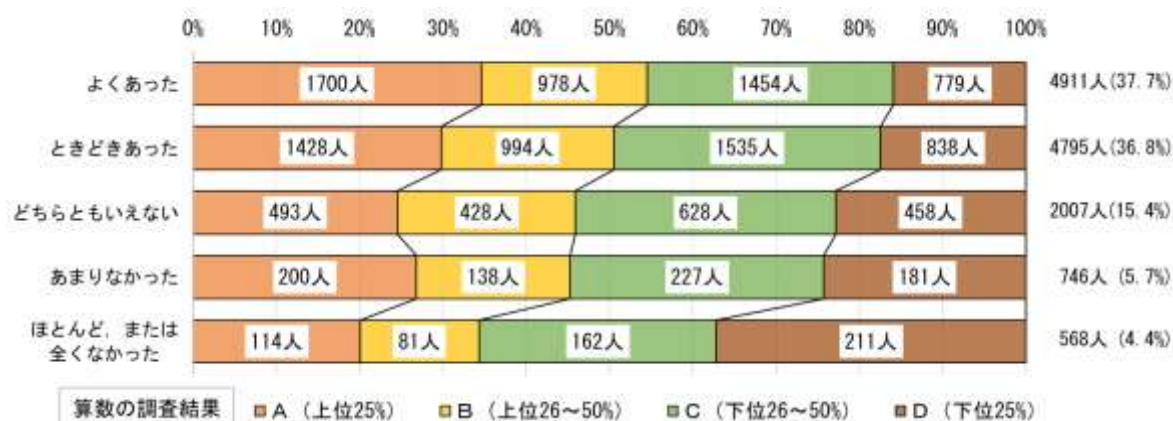
- 「学び出す」…全ての子どもが、結果の見通しや、解決方法の見通しをもち、自ら動き出そうとする導入にします。
- 「学び合う」…全ての子どもが、友達の話に耳を傾け、自分の考えを確かにしたり、新たな考えに気付いたり、磨き上げたりする展開にします。
- 「学び取る」…全ての子どもが、今日の授業で「自分は何が分かり、何ができるようになったのか」を実感できる終末にします。

<児童生徒質問紙調査結果と「学力のレベル」の階層のクロス集計結果から>

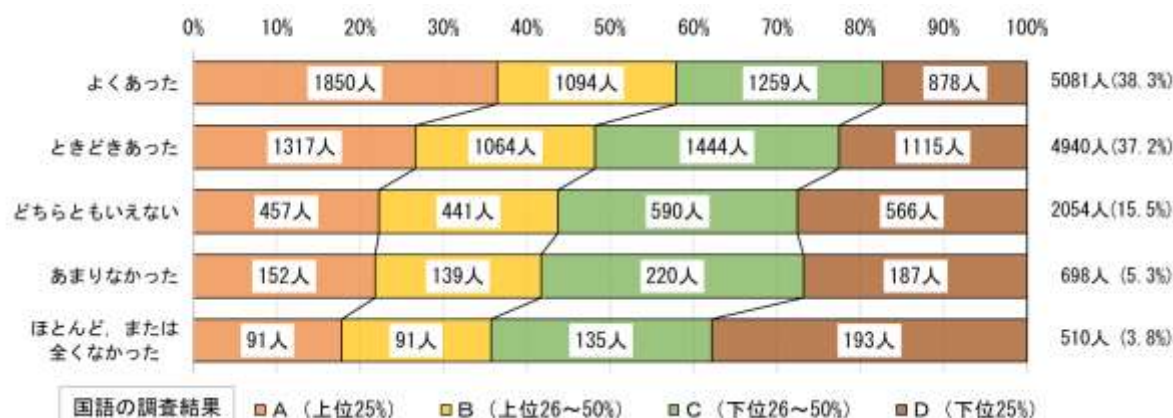
縦軸：質問『授業の始めに、今日はどんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組んだことがありましたか』

横軸：『国語の調査結果』（小5・中1）『算数・数学の調査結果』（小4・小6・中2）

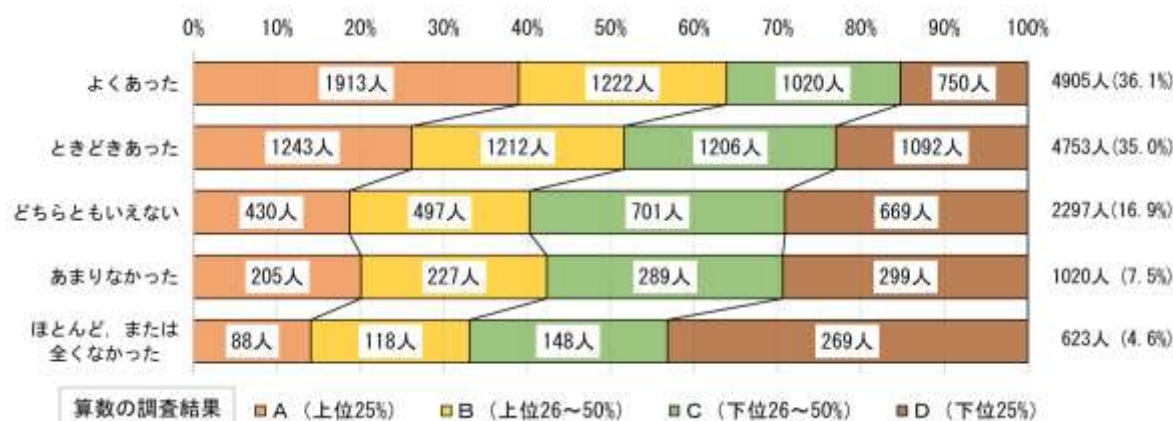
小学校4年生 算数



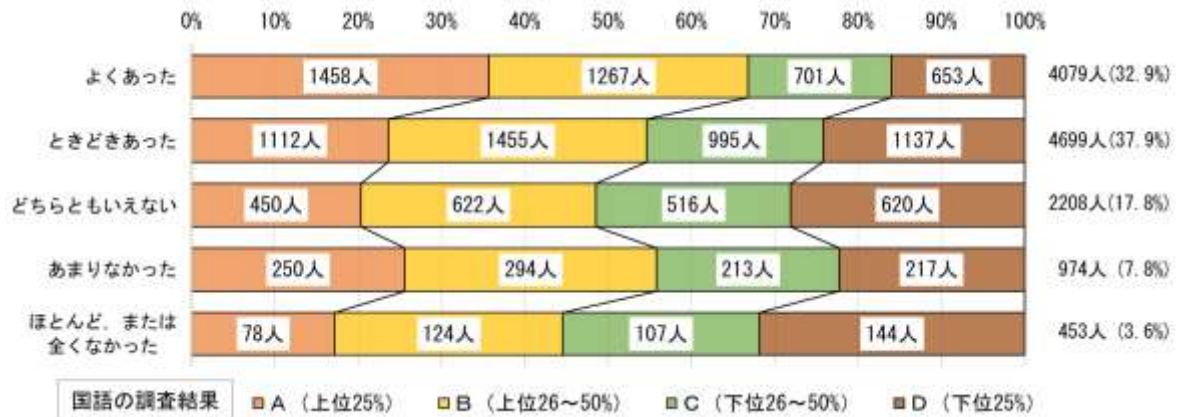
小学校5年生 国語



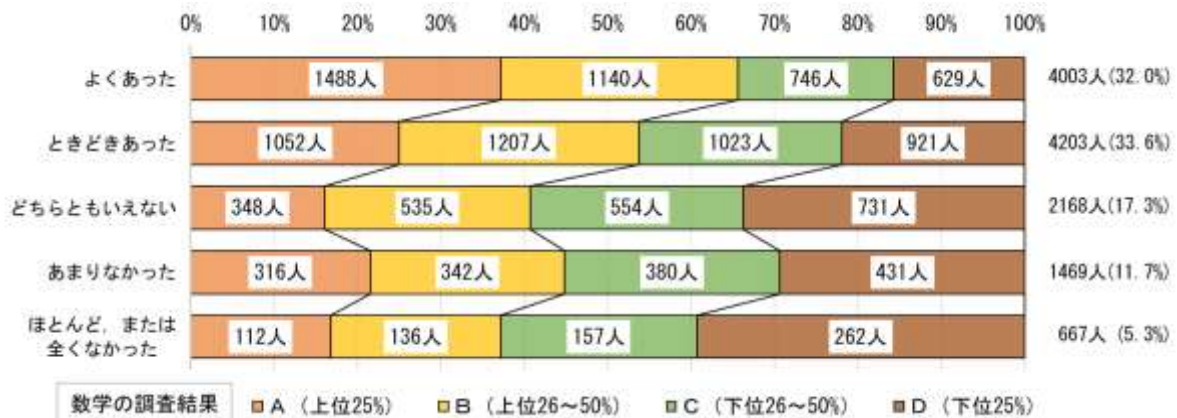
小学校6年生 算数



中学校 1 年生 国語



中学校 2 年生 数学

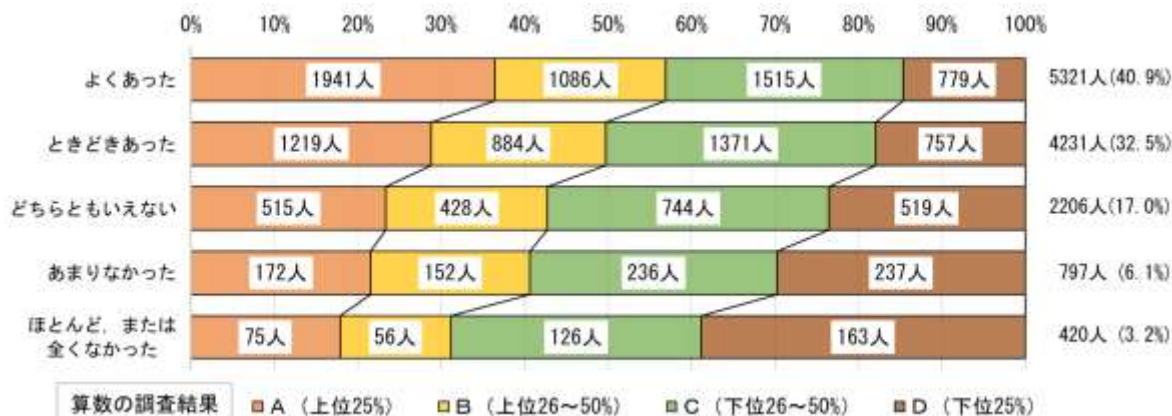


※ 学力の各レベルに属する児童生徒数の分布割合は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

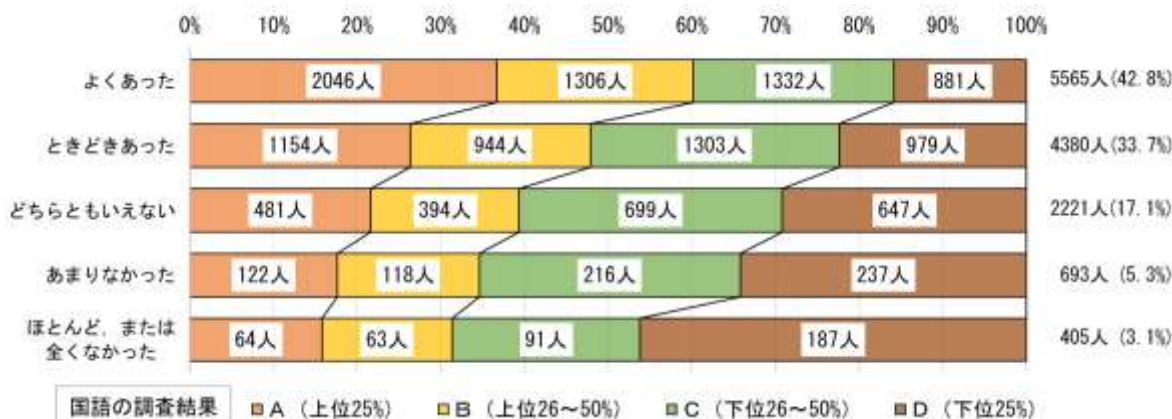
縦軸：質問『課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりと持てるようになったことがありましたか』

横軸：『国語の調査結果』（小5・中1）『算数・数学の調査結果』（小4・小6・中2）

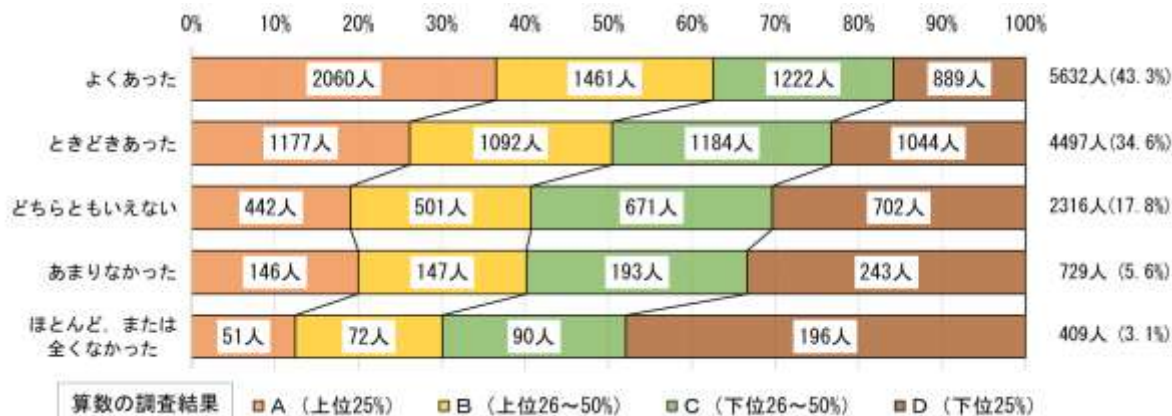
小学校4年生 算数



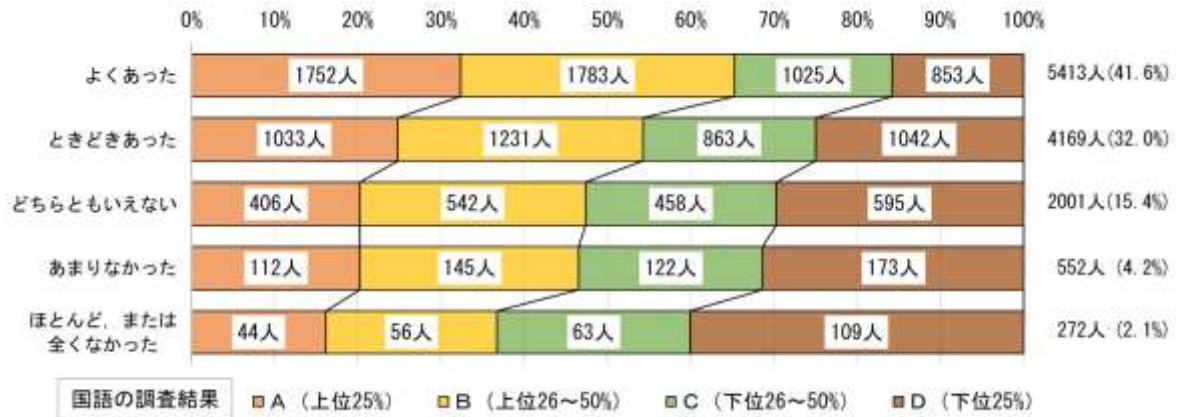
小学校5年生 国語



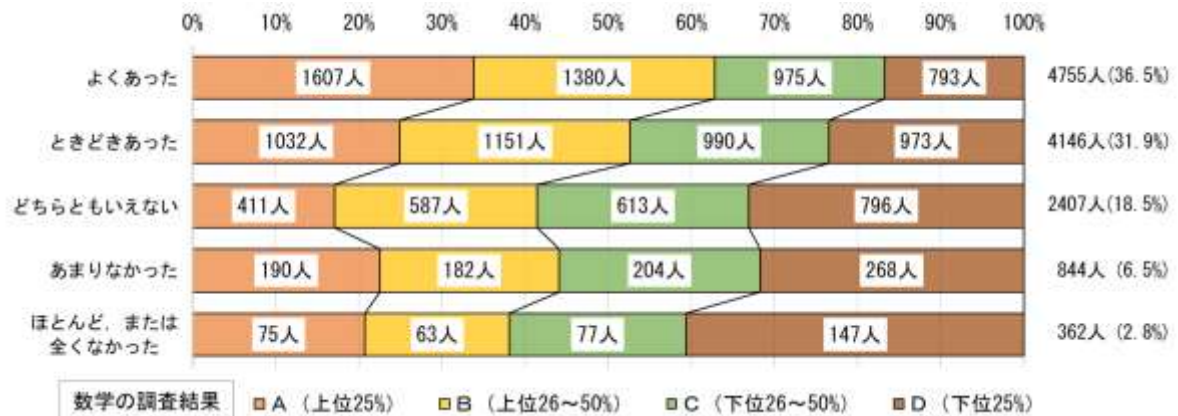
小学校6年生 算数



中学校 1 年生 国語



中学校 2 年生 数学

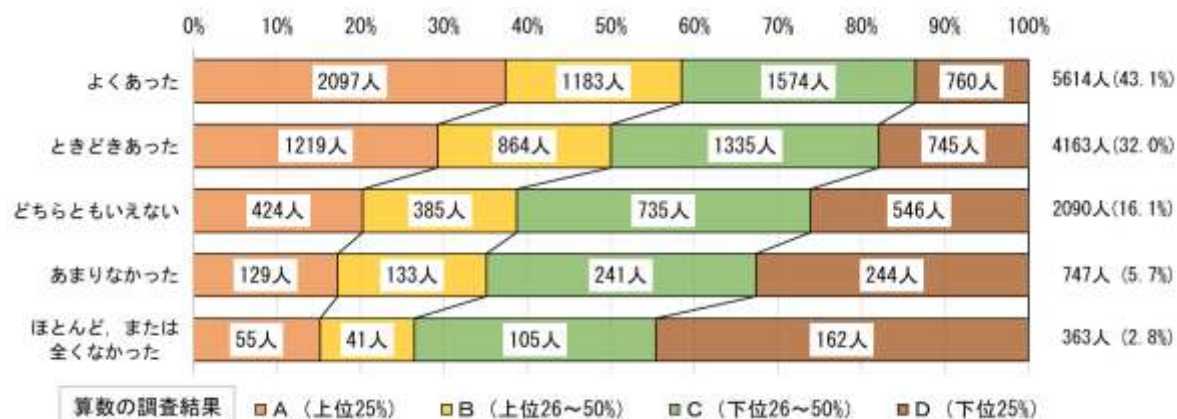


※ 学力の各レベルに属する児童生徒数の分布割合は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

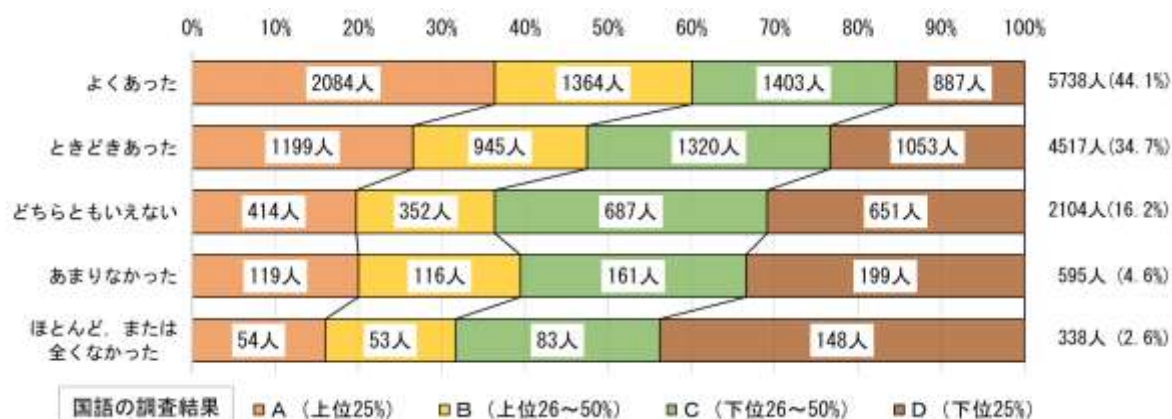
縦軸：質問『授業で学んだことが、以前に学習した知識とつながったことがありますか』

横軸：『国語の調査結果』（小5・中1）『算数・数学の調査結果』（小4・小6・中2）

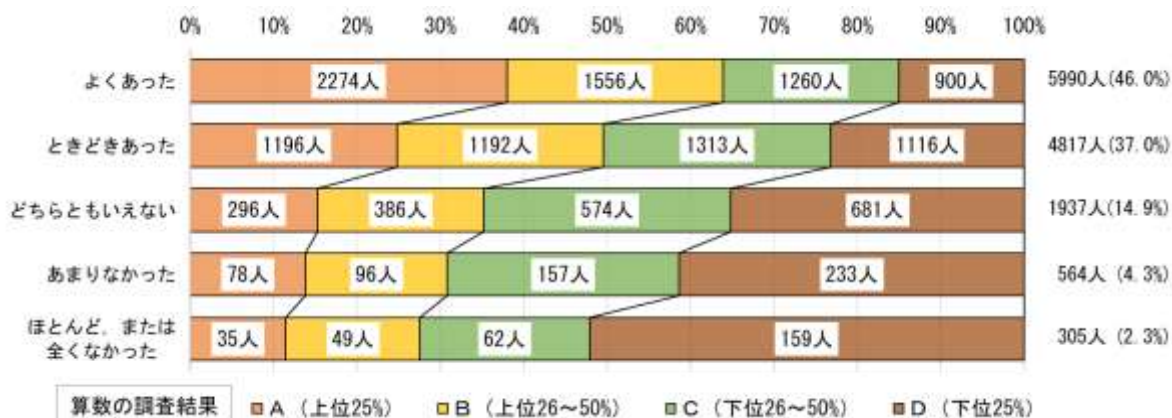
小学校4年生 算数



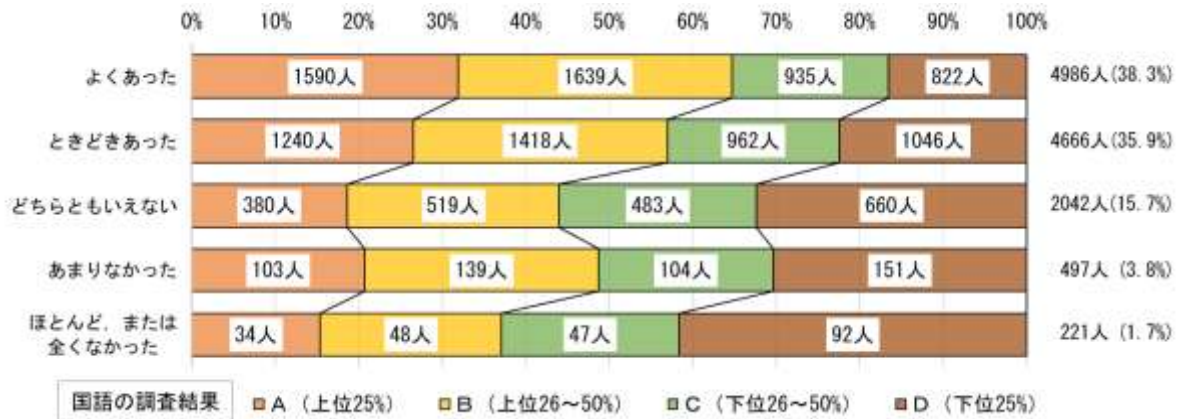
小学校5年生 国語



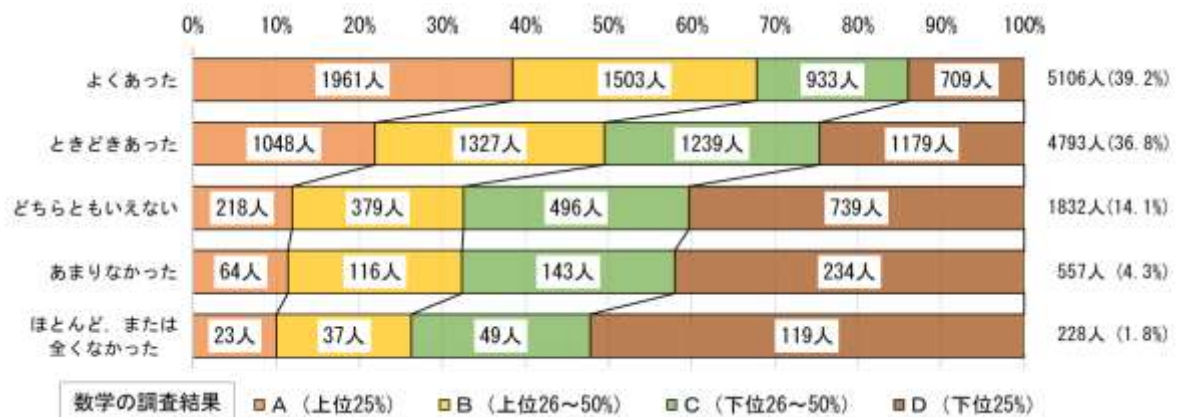
小学校6年生 算数



中学校 1 年生 国語



中学校 2 年生 数学



※ 学力の各レベルに属する児童生徒数の分布割合は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

